

第 3 期 事 業 年 度  
(平成 1 8 年度)

決 算 報 告 書

国立大学法人 浜松医科大学

平成18年度 決算報告書

国立大学法人浜松医科大学

1. 予算

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差額 (決算 - 予算)	備考
収入				
運営費交付金	5,281	5,281	0	
施設整備費補助金	385	385	0	
国立大学財務・経営センター施設費交付金	32	32	0	
自己収入	12,093	12,400	307	
授業料、入学金及び検定料収入	622	615	7	(注1)
附属病院収入	11,347	11,648	301	(注2)
雑収入	124	137	13	(注3)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	825	926	101	(注4)
長期借入金収入	1,033	1,033	0	
承継剰余金	103	26	77	(注5)
目的積立金取崩	0	33	33	(注6)
計	19,752	20,116	364	
支出				
業務費	15,009	14,788	221	
教育研究経費	3,146	4,471	1,325	(注7)
診療経費	11,863	10,317	1,546	(注8)
一般管理費	1,397	1,162	235	(注9)
施設整備費	1,450	1,450	0	
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	825	937	112	(注10)
長期借入金償還金	1,071	1,058	13	(注11)
計	19,752	19,395	357	
収入 - 支出	0	721	721	

予算と決算の差異について

- (注1) 授業料及び入学金検定料収入については、研究生等の減により予算金額に比して決算金額が7百万円少額となっています。
- (注2) 附属病院収入については、診療報酬請求の増等により予算金額に比して決算金額が301百万円多額となっています。
- (注3) 雑収入については、主として駐車場収入・職員宿舍貸付・資金運用・特許収入等の増により、予算金額に比して決算金額が13百万円多額となっています。
- (注4) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、予算金額に比して決算金額が産学連携等研究収入で23百万円、寄附金収入で78百万円、合わせて101百万円多額となっています。
- (注5) 損害賠償事案で、予算金額に比して決算金額が77百万円少額となっています。
- (注6) 当該年度に支出予定をしていなかった、教育用備品及び学内保育施設の建設のために33百万円多額となっています。
- (注7) 教育研究経費について、計上区分の変更による診療経費からの振替増、人件費の計画見直しによる減、物件費の計画見直しによる増、等により予算金額に比して決算金額が1,325百万円多額となっています。
- (注8) 診療経費について、計上区分の変更による教育研究経費への振替減、診療報酬請求額の増に伴う材料費の増及び診療材料の適正在庫確保による増等により予算金額に比して決算金額が1,546百万円少額となっています。
- (注9) 一般管理費については、計上区分の変更による診療経費からの振替増、計上区分の変更による教育研究経費への振替減人件費の減少、退職手当の減少、承継剰余金債務に係る支出の減少及び目的積立金財源による支出の増により、予算金額に比して決算金額が235百万円少額となっています。
- (注10) 注4に示した理由及び複数年契約分の支出により、予算金額に比して決算金額が112百万円多額となっています。
- (注11) 当該年度借入時期の調整により、予算金額に比して決算金額が13百万円少額となっています。